

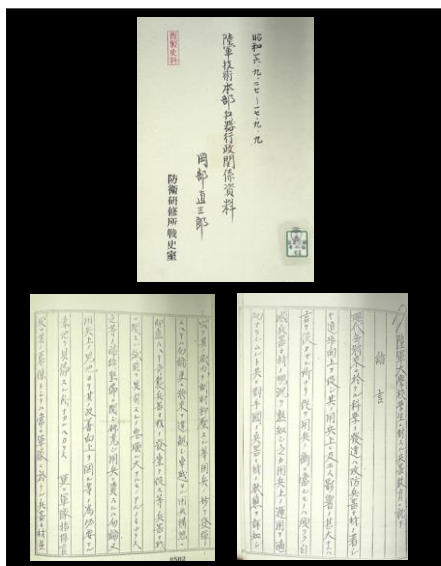
平成29年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎月一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 おかべ なおさぶろう 岡部 直三郎 1887~1946年 》  
—広島県出身の陸軍大將—



**戦術教育法** (登録番号：中央-教程陸大-24)

岡部直三郎大將は、明治38年11月、陸軍士官学校(18期)を卒業後、陸軍大学校教官、次いで研究部主事を経て、昭和10年3月、少将で陸軍大学校幹事に就任、のちに陸軍大学校校長も務めます。この史料は、昭和10年度第3学年及び専科学生に対してなされた岡部の「戦術教育法」です。この中で岡部は、用兵術教育の立場から戦史に期待するところは、「歴史的智識テモナク又実戦ニ方リテ模倣スヘキ戦例ヲ覚エルコトテモナク」として、次の事項を列挙しています。すなわち、「既ニ発見セラレタル戦理原則ノ理解ヲ深刻ニスルコト」、「戦場ノ諸相ヲ感得シ用兵術ヲ実戦的ナラシムルコト」、「精神修養」であるとしています。したがって用兵術教育に携わる者は、前記目的に応ずるごとく、「戦史ヲ引用シテ教育ヲ完カラシムルコトカ必要ナル」としています。



**陸軍技術本部兵器行政関係資料** (登録番号：中央-軍事行政その他-61)

陸軍大学校幹事ののち、北支那方面軍参謀長、駐蒙軍司令官などの要職を経て、昭和15年12月、技術本部長に就任した岡部は、軍事と科学技術の調和に専心します。この史料は、岡部が技術本部長時代の「陸軍技術本部兵器行政関係資料」で、「技術本部ノ研究目標ヲ如何ニスヘキヤ」、「現在ニ於ケル兵器行政ノ欠陥」などとともに、「陸軍大学校学生ニ対スル兵器教育ニ就テ」が綴られています。この中で岡部は、「軍隊指揮官或ハ其ノ幕僚トシテハ常ニ軍隊ニ於ケル兵器々材並其ノ状態ヲ知悉シ之カ保全ニ関シ適切ナル指導ヲ与ヘ(中略)兵器々材本然ノ威力ヲ遺憾ナク發揮セシメサルヘカラス」、このため「将来軍隊指揮官タリ幕僚タルモノノ兵器々材ニ関スル智識ノ向上ヲ要スルコト自明ノ理ナリ」と述べています(他に『岡部直三郎大將の日記』芙蓉書房、1982年)。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-6-29171、29175 (史料紹介コーナーのみ29651)  
外線：03-3260-3011  
FAX：03-3260-3034 ※ 防衛研究所ウェブサイト：www.nids.mod.go.jp